

第23回参議院議員通常選挙 各党ウェブサイトの選挙公約等から抜粋「原発再稼働、新設について」

政党名	出典元(公表日)	参照先アドレス	原発	核燃料サイクルなど
自由民主党	参議院選挙公約 (2013年6月20日)	https://www.jimin.jp/policy/policy_topics/121527.html	原子力発電所の安全性については、原子力規制委員会の専門的判断に委ねます。その上で、国が責任を持って、安全と判断された原発の再稼働については、地元自治体の理解が得られるよう最大限の努力をいたします。	次世代への責任を果たすべく、高レベル放射性廃棄物の「大幅な有害期間の短縮・毒性の低減化」の研究開発を加速させます。
公明党	当面する重要政治課題 (2013年6月27日)	https://www.komei.or.jp/policy/policy/pdf/2013currentpolicy.pdf	原発の新規着工を認めない。再稼働については、40年運転制限、バックフィット(最新の知見を適用)、活断層等の徹底調査をはじめとする厳しい規制の下で、原子力規制委員会が新たに策定した厳格な規制基準を満たすことを大前提に、国民、住民の理解を得て判断します。	使用済み核燃料の再処理は、直接処分への転換を含め、立地地域に配慮しつつ、見直しを検討します。最終処分問題についても責任を持って解決の道を検討していきます。高速増殖炉もんじゅは廃止します。
民主党	重点政策・Manifesto (2013年6月25日)	http://www.dpj.or.jp/global/downloads/manifesto2013.pdf	「40年運転制限を厳格に適用する」「原子力規制委員会の安全確認を得たもののみ、再稼働とする」「原発の新設、増設は行わない」の3つの原則を厳格に適用する中で、2030年代に原発稼働ゼロを可能とするよう、あらゆる政策資源を投入します。	使用済み核燃料の減容化、減量化、無害化の研究開発を国際的に進めます。使用済み核燃料の直接処分の研究を推進します。(民主党政案集に記載)
みんなの党	アジェンダ2013みんなの政策・完全版 (2013年7月1日)	http://www.your-party.jp/file/agenda2013e/agenda2013-idx.pdf	新規の原発設置を禁止。40年廃炉を徹底。市場メカニズムを通じた退出等を含め2020年代の原発ゼロを国家目標として実現する。国会に原子力行政を監視するための特別委員会を設置し、原子力規制委員会が定める世界標準の新基準に適合しない限り原発の再稼働を認めない。国家主導の原発輸出をやめる。	核燃料サイクル計画を廃止し、使用済み核燃料を直接処分する。
生活の党	参院選公約 2013 (2013年6月24日)	http://wp.seikatsu1.jp/activity/party/act0000093.html	原発の再稼働・新増設は一切容認しない。遅くとも2022年までに最終的な廃止を確定する。	高速増殖炉・核燃料サイクルはすべて廃止する。余剰の設備、人材を安全で確実な廃炉プロジェクトおよび廃棄物の毒性低減に向けた研究開発に振り向ける。
日本共産党	2013年参院選挙政策 (2013年6月6日)	http://www.jcp.or.jp/web_policy/2013/06/-2013-20136.html	原発の再稼働と輸出を中止し、「即時ゼロ」の決断を。ただちに廃炉のプロセスに入ることが最も現実的な道です。	高速増殖炉「もんじゅ」や再処理工場は廃止し、プルトニウム循環方式から直ちに撤退します。(2013年参議院選挙各分野政策に記載)
みどりの風	約束 (2013年6月13日)	http://www.adjustbook.com/lib/?us=2933&bk=6327	脱原発を、止める(再稼働なし)、やめる(2023年までにすべての原発の完全廃炉に着手)、かたづける(核のゴミ処理を確立)の3つのステップで着実に実行します。	
社会民主党	参議院選挙公約2013・総合版 (2013年6月20日)	http://www5.sdp.or.jp/policy/policy/election/images/130620.pdf	原発再稼働は一切認めません。稼働中の大飯原発3・4号炉は即時停止させます。原発の新増設はすべて白紙撤回し、建設を中止します。	「もんじゅ」や再処理等の核燃料サイクル計画からは撤退し、使用済み核燃料についてはドライキャスクによる直接処分とします。
日本維新の会	参議院選公約 (2013年6月27日)	https://j-ishin.jp/pdf/2013manifest.pdf	先進国を主導する脱原発依存体制を構築する。原発政策のメカニズム・ルールを根本から見直し、より厳格なものとする。世界最高水準の安全基準を設定し、原子力の運営をより安全にさせる。廃炉への道筋を明確化する。	使用済み核燃料サイクル、最終処分場の選定問題に早期に結論を出す。
新党大地	参議院選挙公約 (2013年7月2日)	http://www.daichi.gr.jp/pdf/20130702.pdf	原発ゼロにします。廃炉にむけた技術の開発を推進します。	
みどりの党グリーンズジャパン	2013年参院選「公約」 (2013年7月1日)	http://greens.gr.jp/uploads/2013/07/Green_MFT2013.pdf	原発は今すぐゼロへ。原発再稼働と新規建設を止める。	核燃料サイクルの継続を止める。
幸福実現党	2013年参院選主要政策	http://publications.hr-party.jp/files/policy/2013/001//origin/all.pdf	原発事故を機に世界最先端の技術へと高め、世界一安全な原発をつくります。安全性が確認された原発は再稼働します。活断層の有無をもって、原発再稼働の可否を判断することに反対します。	原発から出た使用済み核燃料の全量再処理を進め、核燃料サイクルの確立を目指します。高速増殖炉の実用化を目指します。